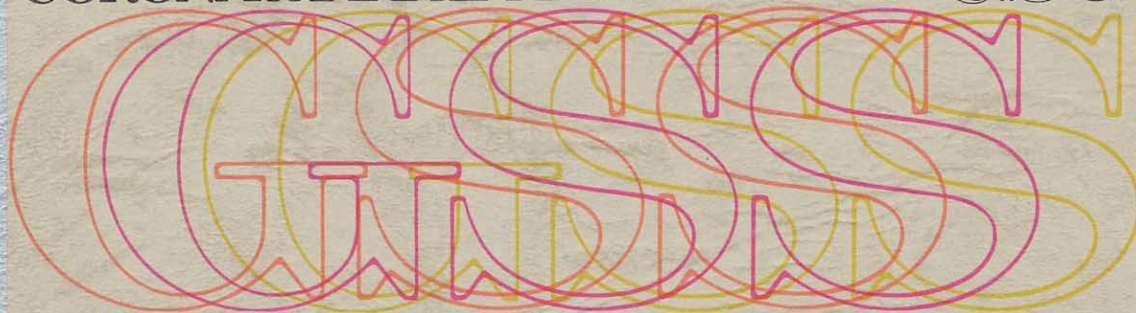


CORONA *MARK II 1900* HARDTOP GSS



取扱書 OWNERS MANUAL-RT75-M

コロナ MARK II 1900 ハードトップ GSS 取扱い追加

昭和44年11月

〔スパーク・プラグ使用上のご注意〕

お車のプラグは低熱価の市街地用のものを取りつけてありますので、準レース走行（140 km/h 以上の連続走行）をされる時には必ず高熱価のプラグとお取りかえください。

低熱価のプラグで準レース走行をされると、プラグが焼損したり、ピストンが破損する場合がありますので、十分ご注意ください。

| | 高熱価プラグ | 低熱価プラグ |
|--------|--------------------------------------|---------------------------------------|
| プラグの種類 | 日本電装製 W22EP NGK 製 BP-7E | 日本電装製 W20EP NGK 製 BP-6ES |
| 走行条件 | 準レース走行 | 一般走行 |

〔タイヤ取扱い上のご注意〕

下表の空気圧力を必ず守り、許容最高速度以内で必ず走行してください。タイヤは安全のために、許容最高速度および空気圧力が定められております。

（下表をご参照ください。）

(1) 許容最高速度

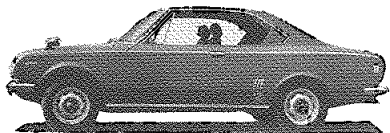
| タイヤの種類 | 許容最高速度 | 備考 |
|---------------|----------|----------|
| 6.45 S 14 4PR | 175 km/h | Sタイヤ |
| 165 SR 14 | 180 km/h | ラジアルSタイヤ |
| 6.45 H 14 4PR | 205 km/h | Hタイヤ |

上表の許容最高速度を越さないでください。

(2) 空気圧力

| 走行するときの最高速度 | 100 km/h 以下 | 150 km/h 以下 | 150 km/h 以上 |
|-------------------------|-------------|-------------|-------------|
| 空気圧力 kg/cm ² | 1.5 (前後輪共) | 1.8 (前後輪共) | 2.4 (前後輪共) |

許容最高速度を越えて走行したり、空気圧力を誤って走行しますとタイヤが異常に熱せられ、破損するおそれがあります。特に高速走行時には、思わぬ大事故を起し非常に危険です。



はじめに

CORONA *MARK II 1900* HARDTOP GSS

このたび、コロナ・MARK II 1900 ハードトップ GSS をお買いあげいただき、ありがとうございます。
ます。

この本には車の取扱い方法と簡単な手入れについて書いてあります。車についてよくご存知のかたでも、この車独自の取扱いがありますからよくお読みいただいたうえでご使用ください。

ご不審な点、お気づきの点はなんなりとコロナ・MARK II 1900 ハードトップ GSS 取扱い店にご相談ください。

なお、取扱い方法が車の改良のためやむを得ず予告なしに一部変更することがありますのでご了承ください。

CORONA *MARK II 1900* HARDTOP *GSL*

